

杉並区地域自立支援協議会講演とシンポジウムアンケート集計結果

平成24年2月21日(火) 13:30~17:00 荻窪保健所地下講堂

参加者 88名(一般参加者 55名 協議会関係者 32名)

アンケート回答者 44名

ア、「杉並区地域自立支援協議会講演とシンポジウム」の開催について、どこでしりましたか？

- 1、ちらし (13人)    2、広報「すぎなみ」 (8人)    3、のーまらいふ (1人)    4、その他 (24人)

参加委員・作業所からのちらし・加入団体・友人(高山先生の講座の受講生)・高山先生からの紹介(4人)・職場・育成会よりのちらし・ゆるやかな会杉並(3人)・育成会理事会・ボランティアグループ・協議会委員等

イ、「杉並区地域自立支援協議会講演とシンポジウム」の内容はいかがでしたか？

基調講演「障害者総合福祉法の動向と今後の障害者福祉の展望」について

- 1、とてもわかりやすかった (21人)    2、わかりやすかった (12人)    3、普通 (5人)    4、難しかった (3人)    5、とても難しかった (2人)

・ご意見・ご感想を下記にお書きください。

- ・現行制度の欠陥と、これからの福祉法・制度がどこを目指すべきか、わかりやすく解説していただいた。ただ時間が短かったのが残念。
- ・関心を持つことのきっかけになりました。ありがとうございます。
- ・時間が短くて残念でした。先生が頑張ってお下さった「熱意」が伝わってきました。厚労省案にはがっかりですね。
- ・厚労省案をホームページで見えていたが、もっと詳細なものがどこかにあると思っていた。たった4ページのものだったことが分かってがっかりした。あの分厚い骨格提言はどうなったか。いかされないのか。
- ・自立支援法も一時廃案になったのに復活したので、新法についても不安です。
- ・歴史的背景の説明がよかった。
- ・サービスの変化の部分で、今後第3の時代に入っていき可能性があることを知り、感激致しました。私も親が高齢でして、まさにいま重度の知的障害を持つ息子の為に、夫婦で話し合い、望んでいる内容のものです。一日も早く実現出来る日を待ち望んでおります。
- ・協議会そのものの存在を知らなかった。
- ・短い時間の中で、流れや動きがよくわかりました。もっと興味を持って、必要な声を出していかなければと痛感いたしました。
- ・これまでの法制度の問題点を改めて理解することができた。
- ・高齢者の介護保険と一緒にしないのは？だった。高齢者は広義の障害者なのに、と、10年以上高齢者の訪問ボランティアをしてきた経験から。
- ・現状について理解できた。
- ・もう少し長時間ききたかった。わかりやすかったが、総合福祉法の結果のひどさにびっくりしがっかりした。

資料2

- ・「なぜ総合福祉法が厚生労働省案で後退しているのか」が触れられるととってもわかりやすいのではなかったか。講演1時間というのは少なすぎる。
- ・厚労省の対応には全くがっかり！！
- ・結局、提言は聞き流されてしまうのかという無力感。とはいえ、やれることはやらないと。
- ・通して聞いたのが初めてで、まだ理解はされていないが糸口になった。
- ・講演時間が短すぎた。今後の動向を詳しく知りたい。
- ・まだまだこれからの移行という中で、動向がわかった。その期間に私たち育成会として、どのように協力（参加）していくか見守っていきたい。
- ・障害者権利条約の批准を最終目的とした、いま進行中の総合福祉法への改革なのだ道筋がよくわかった。知的の息子が今後地域移行するのに、重度訪問介護が幅広く使えるようになれば本当に安定した生活を送るうえで助かるなぁと思いました。
- ・総合福祉法がどういう道筋を経て作られようとしているかよくわかった。また現在の危機的状況についてもよくわかった。これからどうするのか。
- ・今、どうなっているのかを知ることができた。
- ・時間が短くて残念。今日の結果をふまえて、今後の展望について再度お話を聞けるとうれしい。
- ・熱い気持ちがかもっている法律であるとわかった。とても興味深い内容でした。ありがとうございました。

杉並区地域自立支援協議会の今までの取り組みについての報告 について

- 1、とてもわかりやすかった 2、わかりやすかった 3、普通 4、難しかった 5、とても難しかった  
(8人) (16人) (11人) (3人) (1人)

・ご意見・ご感想を下記にお書きください。

- ・難しいというより時間不足。資料を読むだけの報告なら不要では？と思った。
- ・いろいろなことを同時進行しながら結果を出すのは、難しいと思います。
- ・時間が足りない。
- ・とても参考になりました。ひるがえって、「西東京市は？」と思うと、全く公開されておりません。何かの機会に提言していきたいと思っております。
- ・わからなかった。
- ・相談支援部会の報告が、具体的なものが見えず残念。資料を読むだけなら時間の無駄だと思います。
- ・具体的な取り組みを知ることができた。
- ・こういう取り組みが現実に生きているのか？と思った。
- ・現状について理解できた。
- ・協議会とはチラホラ聞いていたが、はっきり解ってきました。
- ・自立支援法が改称されてもこの協議会が続き、杉並でのこれまで築いてきた活動を続けて欲しいことと、こうした協議会の活動報告会を年に一度位して欲しい。
- ・もう少し時間が欲しかった。取り組み中に於ける課題・問題点・障害となっていることも紹介して欲しかった。
- ・取り組みはわかった。成果は？また発される提言は、やはり提言に過ぎないのか？

- ・まだまだ分かりにくかったが、興味を持っていきたい。
- ・サービスを提供する側の人材確保については、育てていくことにもっと力を注ぐことが必要なのでは。制度はできても、手が足りなくてサービスを受けられないようなことにならないようにしたいものです。
- ・佐藤弘美氏のお話は年々の変化がよりわかりやすかった。
- ・杉並区の取り組みをうらやましく思った。
- ・取り組み項目ごとに経過を示せると、もう少しわかりやすかったと思う。
- ・時間がなく、所々省略されてしまったのが少し残念でした。

### パネルディスカッション「地域における障害者の自立生活（暮らし）を考える」について

- 1、とてもわかりやすかった 2、わかりやすかった 3、普通 4、難しかった 5、とても難しかった  
(12人) (18人) (3人) (0人) (1人)

・ご意見・ご感想を下記にお書きください。

- ・事例をとりあげたため、イメージしやすかったです。
- ・このシンポジウムを通じて、本人主体ということを自分なりに考えることができた。
- ・退院促進は今一番関心のあることで、杉並でも頑張っていることを知りうれしかったです。
- ・具体的な事例もあり理解できた。
- ・ピア相談員という言葉は初耳です。労を惜しまない支援に、他人ながら感謝しています。
- ・身内に精神障害者がいるので、自主生活は考えることもできない大変なことです。本人主体とは？
- ・直接、相談支援事業の実践を伺えてとてもよかったです。
- ・GHの世話人の工夫している様子が判り、大変参考になった。
- ・本人主体の実践について良い話が聞けました。ありがとうございました。代わりにはなれないというの  
もとても共感しました。
- ・実践的でよく分かった。
- ・当事者の話が大変わかりやすく、また話をお聞きしたいです。
- ・本人主体の前提となる信頼関係の大切さ、選択肢の大切さ等を確認できた。
- ・支援者側・支援される側、両面からみた自立（暮らし）の考え方に、悩み・課題があることがわかる。  
信頼関係を築くために時間も必要であると同時に、相性が合うパートナーとの出会いもあるのでは…。  
多くの経験（1ヶ所にとどまらず）をすることで、人間関係も学習していくことが必要に思う。本人主  
体の支援を多くの人が一緒に考えていくことが大切だと思う。それがネットワークだと思っている。
- ・利用者自体の支援の必要性和、時間に関する意識（利用者と周囲の者）の違いに気付く必要性を強く感  
じた。
- ・「本人主体」ということ、そのためのネットワークであるということが印象に残った。GH・CHを作る  
のも難しいところ多々あるが、作ったあとGH・CHを支えていくための支援の重要さを考えた。
- ・事例に対してどう取り組んだのか説明があってわかりやすかった。
- ・地域で生活していくための活動に、一般市民が関わっていける機会があるのかどうか知りたいと思いま  
した。
- ・いろいろな立場からの意見や言葉を聞いてよかった。
- ・自立生活者として頑張るよう、他に方法はないのではないか。

全体を通してのご意見・ご感想を下記にお書きください。

- ・財源との関係出来る処から解決しないと、不可能だと思いました。
- ・具体的事例から解りやすく説明してくれ、よく理解できたり、今後の参考にする事が出来ました。本人主体をよく頭において支援していかねばと、改めて思った。
- ・何をやっているところか少しだけわかった。
- ・GH世話人さんのお話が印象的でした。
- ・またぜひ新しい法律の説明会を行ってほしい。
- ・非常に分かりやすかった。
- ・個人的には法律には興味はないです。実際に行われていることが興味あります。
- ・わかりやすかった。
- ・質問の時間が欲しかった。
- ・とても充実した内容でした。ただ、自立支援協議会の仕事の内容も知りたかったです。
- ・ちょっと長くて、少々眠くなった。
- ・内容の濃いシンポジウムだった。
- ・また参加したい。支援者側成功率がやりがいのある仕事につながる。若い人達が福祉に目覚める、そんな場をもっとつくってほしい。
- ・早口の人がいたり時間いっぱいであり、障害のある人にとってはきついように感じた。当事者向けではないかな。
- ・時間配分を考えた方が良くと思います。
- ・とても良かった。
- ・今後の支援に、意識付けとしてやっていけます。
- ・GHにしてもそこだけで独立してできるものでなく、ネットワークの重要性、またそのための相談支援の体制の重要性がよくわかった。
- ・私はパネルディスカッションの方がとてもわかりやすかった。現場で働いている人や当事者から意見を聞くことはとてもよかった。
- ・貴重なお話を聞かせていただけで良かったです。
- ・盛りだくさんの内容で1日では“もったいない”という印象だった。
- ・とてもタイムリーな内容でした。一步一步粘り強く取り組みましょう。
- ・盲ろう者の福島さんの言葉が印象的でした。
- ・障害者は精神の方に関わる方も、病気に対する理解などをベースに持つことが第一の問題に思う。
- ・全体に事前勉強しておくことが必要であったと思われる。

ウ、杉並区地域自立支援協議会について以下の質問にお答えください。

今まで、杉並区地域自立支援協議会のことをご存知でしたか？

- 1、<sup>し</sup>知っていた(あることを<sup>し</sup>知っていた・<sup>きんかい</sup>参加委員を知っていた・<sup>かつどう</sup>活動内容を知っていた) 2、<sup>し</sup>知らなかった  
(25人) (6人) (4人) (2人) (13人)

今後、杉並区地域自立支援協議会に期待することはありますか？

- ・更なるネットワーク構築・相談力のUP
- ・もっと活動内容がわかるような工夫（広報）
- ・本人や親の会からも参加させて欲しい。
- ・今日聞いた限りでは、正しい方向に進んでいるようなので、充実させていけばいいのではないかな。
- ・本人主体のネットワークの構築
- ・障害を持つ方が住みよい地域に少しでも近づけるように、今後も頑張っていきたい。
- ・GHに関すること。親も兄弟もいない。
- ・大変なご苦労です。根気と自己（患者ではなく自分自身の心の問題でもあります）をよく見つめての接し方が大切です。
- ・当事者のことば「色々制度が変わっても当事者を主体に考えてほしい」が素晴らしい。選択するものがたくさんある地域にしてほしいと思います。
- ・期待したいと思います。今後も注目していきたい。
- ・もっと区民にPRしたらどうか。
- ・法的背景ができて、成果につながりますように。
- ・地域に開けた協議会になることを期待します。
- ・知らないことが多いので、広報活動を活発にしてほしい。
- ・障害のある人とない人が共に出会う機会がある杉並区になるよう、地域づくりに貢献できるとよい。
- ・現状、課題、情報をもっと具体的に知りたい。文章にある確認事項・把握内容など。
- ・地域住民に広く知らせて下さい。
- ・障害者の家族（親の会の会員）等もメンバーに入れてほしい。
- ・障害者の立場に立ち実現していくこと。
- ・いろいろなことを他地域にも発信してほしいと思う。
- ・要約筆記、手話通訳がついていてよかった。要約筆記に関しては、パソコンテイクをつけたらどうか。
- ・これからもコツコツ地域での取り組みを期待しています。
- ・このような支援協議会があるのは知らなかった。

エ、あなたのお立場をお答えください。

- 1、障害当事者（7人） 2、福祉関係者（13人） 3、学校関係者（8人）（学生 4人） 4、その他（14人）

（障害者の親（5人）・障害者の家族（2人）・相談事業所・メンタルケアのボランティア・ボランティア等）